

第 1 号議案

令和 5 年度事業計画並びに収支予算の承認について

令和 5 年度事業計画

I. 事業方針

アフターコロナにおけるライフスタイルの変化やウクライナ等の国際情勢、種子生産者の経営実態（肥料・農薬等の高騰、国の交付金制度等）を十分に踏まえながら、主要農作物優良種子の安定生産・安定供給を確保し、栃木県水田農業の経営安定と所得向上に貢献します。

また、「栃木県奨励品種の優良な種苗の安定供給に関する条例」に基づく「種苗生産等計画策定者」として、種子生産者の高齢化や施設の老朽化等を踏まえ、県内種子産地が将来にわたって維持・発展していくための課題の整理、対応策の検討を進めます。

II. 実施事業

1. 優良種子の安定生産と供給

主要農作物生産の基礎となる優良種子の安定生産と供給を図るため、計画的な種子生産や生産指導と品質向上、種子の供給、品質管理、種子生産体制の強化、などを実施します。

(1) 種子生産計画

事前予約された需要数量を基本に、流通動向、新品種の振興計画、備蓄数量などを勘案して県・関係機関と協議の上、「種子生産計画」を策定し、種子の生産にあたります。

※ 令和 5 年産種子生産計画：別表 1

〈主な事業〉

- ・ 種子生産計画の策定
- ・ 作付品種の許諾契約締結
- ・ 種子生産者と採種ほ場面積の確保
- ・ 他県との連携による種子生産の受委託



（２） 飼料用米多収品種の種子確保

飼料用米の助成金が令和 6 年産より見直しされることにより、一般品種から飼料用米多収品種への大転換が想定され、5 年産において飼料用米多収品種の種子生産に取り組み、今後の急激な需給変化に備えます。

〈主な事業〉

- ・ 関係機関との連携による種子生産の指導
- ・ 品質向上対策の実施（品種切替圃場への漏生対策等）
- ・ 6 年産種子の需要に応じた生産計画の策定

（３） 生育状況の確認

ほ場確認等へ参加し、種子生産ほ場での生育状況を確認し必要な対策を助言指導するとともに生産見込数量の的確な把握に努める。

〈主な事業〉

- ・ ほ場確認会、生産物確認会
- ・ 下見指導会、農産物検査の立会・確認

（４） 混種事故防止

あらゆる機会、方法を通じコンタミ事故を絶対に起こさないための指導徹底に取り組みます。

〈主な事業〉

- ・ 種子 G A P の実践促進や異品種混入防止チェックシートの配付
- ・ 種子生産者の 1 品種作付け推進
- ・ 原種消毒および原種専用ネット使用の指導
- ・ 収穫等機械の共同利用の促進

（５） 種子品質の確認・管理

種子検査見本品の作製・配付や調製程度確認会を開催するとともに産地における発芽試験結果の確認、備蓄種子の発芽試験等を行います。

また、稲種子の DNA 分析を実施して混種事故を未然防止します。

〈主な事業〉

- ・ 種子検査見本品の作製・配付と調製程度確認会の開催・稲種子 DNA 分析・調査の実施
- ・ 備蓄種子の発芽試験の実施

（６） 受検対策

受検対策会議を開催し、事前指導事項の徹底を図り、栃木米品質の高位平準化と円滑な受検の実施を図ります。

- ・米受検対策会議の開催
- ・受検指導資料の作成配付

（７） 種子の需給調整

需要に応じた優良種子の安定供給を図るため、関係機関・団体とともに種子の需要動向を把握し「種子需給計画」を策定するとともに、不測の事態等に備え計画的に種子の備蓄(低温保管)を行います。

〈主な事業〉

- ・種子需給計画の策定
- ・計画的な種子の備蓄（回転備蓄）
- ・種子消毒の実施（備蓄種子の消毒含む）
- ・残量処理の実施（発生に応じた処理と需要生産者の費用負担）
※ 残量処理財源は、稲・麦類・大豆の種子販売価格に 10 円/kg を加算します。
- ・事故処理の実施（発生に応じた処理と種子生産者の費用負担）
※ 事故処理に備えて、種子生産者から 1 円／k g を預かります。

（８） 種子生産技術の向上

各種研修会の開催、種子伝染性病害等防除への助成を行い、種子生産技術及び品質の向上を図ります。

〈主な事業〉

- ・種子品質向上研修会や種子生産研修会の開催、栽培講習会への参加
- ・種子伝染性病害等防除への助成
- ・GAP シートの配布

（９） 消費者・実需者から選ばれる主要農作物の生産（一般栽培）

主要農作物の品質向上に向け、栽培技術指導及び品質改善指導資料を作成し生産者に配付します。

また、安全・安心な高品質・良食味の農産物を生産するため、地域の生産者を対象に地方農業振興協議会が実施する各種講習会に助成します。

（１０） 広報活動

協会情報紙「とちぎ 米麦改良」を発刊・配付するとともに当協会ホームページにて生産者や関心のある一般消費者向けに生産技術等各種情報を提供します。

2. 種子生産体制の強化

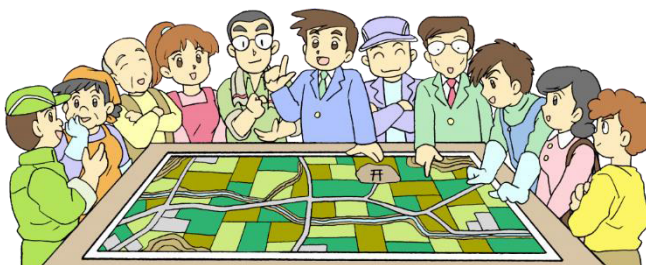
稲麦大豆の優良な種子が将来にわたって安定供給されるよう種子生産者や種子場JA、種子センター等の現状と課題を踏まえた種子生産体制強化に取り組みます。

〈主な課題〉

- ・ 稲：飼料用米の助成金の見直しによる種子需給の急変
- ・ 麦類：種子需要への供給不足（品種：シュンライ、ゆめかおり）
- ・ 大豆：種子需要への供給不足
- ・ 全体：生産者の高齢化に対する後継者の確保
種子センター等の老朽化

〈主な事業〉

- ・ 各種子産地のヒアリング・意見交換
- ・ 「種子生産体制強化検討会」での検討
- ・ 今後想定されるビール麦2品種体制への対応
- ・ 種子生産情報システムの効率的な運用



Ⅲ. 令和5年度主な事業活動予定

別表2

別表1 令和5(2023)年産主要農作物種子生産計画

(単位:ha、t)

種類	品種名	計画面積 (ha)	計画数量(A) (t)	4年産生産計画 数量(B) (t)	前年産比 (A)/(B)
主食米	コシヒカリ	222	888	946	94%
	あさひの夢	33	146	356	41%
	なすひかり	11	43	67	64%
	とちぎの星	64	280	330	85%
	夢ささら	0	1	1	100%
	きぬはなもち	4	14	14	100%
	小計	334	1,372	1,714	80%
飼料米	夢あおば	66	372	—	—
	月の光	34	150	—	—
	小計	100	522	—	—
水稻計		434	1,894	1,714	110%
六条大麦	シュンライ	44	110	104	106%
二条大麦	ニューサチホゴールド	213	692	692	100%
	とちのいぶき	5	18	18	100%
	小計	218	710	710	100%
小麦	さとのそら	15	55	61	89%
	イワイノダイチ	11	35	26	131%
	タマイズミ	16	51	59	87%
	ゆめかおり	12	29	23	129%
	小計	53	170	170	100%
麦類計		315	991	984	101%
大豆	里のほほえみ	—	—	61	—
合 計		749	2,885	2,759	105%

注1) 飼料米は、令和5年度より種子生産を開始します。月の光の計画面積は一部調整中です。

注2) シュンライ8,000kg県外に委託しています。(外数) シュンライ計画数量 118,375kg

注3) 大豆種子の生産数量は3月以降に決定します。

有機水稻	コシヒカリ	1	2	2	108%
------	-------	---	---	---	------

